



下関市消防団

消防団とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づき、地域住民で組織された非常備の消防機関です。



消防団歴
34年目
自営業

消防団歴
41年目
元公務員

消防団歴
37年目
農業者

消防団歴
31年目
自営業

消防団歴
29年目
会社員

消防団歴
45年目
元公務員

令和6年元日、能登半島で起きたあの地震。地元の消防団員は、自らが被災しながらも、地域住民の命を守るため、すぐに動き始めました。避難の呼び掛け、消火・救助活動、避難所の支援——報道で見たあの姿は、まさに「地域のそばにある力」そのものでした。その懸命な働きは、私たちに地域に根差す消防団の重要性を再認識させてくれました。

消防団、その正体は？

火事や地震など「もしものとき」に出動する消防団員。でもその多くは、特別な人ではありません。普段、会社で働いたり、家で家事や育児をしたり——それは遠い誰かではなく、**下関市で普通に暮らす私たちの隣人**なのです。彼らはまちの安全安心を守るため、自分のスキマ時間を使って訓練に励み、備え、動いてくれています。消防団がいることで「何かあったとき、すぐに動ける」共助の仕組みが下関に根付いています。

下関の地域防災力

令和7年8月、市内で活動する消防団員は1607人。しかし、**団員の高齢化**や、「自分の時間を大切にしたい」「仕事が忙しい」といった意識の変化によって、**団員数は減少傾向**にあります。

「公的機関がすべて対応すればいいのでは？」そう考える方もいるかもしれませんが、もちろん行政として全力を尽くします。けれども、突然訪れる大災害や、一分一秒を争う火災などが発生したとき、公助だけでは行き届かない助けも、守りきれない命もある。現実問題、それが私たちの置かれている状況です。

今、必要なのは自ら地域を守る消防団です。「誰かの役に立ちたい」その気持がまちの安全安心につながるのです。今月の特集では、消防団への一步を踏み出した私たちの隣人に向き合います。彼らが語るその声に、少し耳を傾けてみませんか。

関消防局警防課（☎233・91112）

■ 出勤報酬

区分	金額
災害	1日8,000円。 ただし、職務に従事した時間が1時間を超え3時間以下は5,000円、1時間以下は3,000円。
警戒訓練等	1日3,500円。 ただし、職務に従事した時間が1時間を超え2時間以下は2,000円、1時間以下は1,000円。

■ 年額報酬

階級	金額
団長	82,500円
副団長	69,000円
分団長	50,500円
副分団長	45,500円
部長・班長	37,000円
団員	36,500円

■ 退職報償金(抜粋)

階級	団長	分団長	団員	
勤務年数	5~10年	239,000円	219,000円	200,000円
	10~15年	344,000円	318,000円	264,000円
	15~20年	459,000円	413,000円	334,000円
	20~25年	594,000円	513,000円	409,000円
	25~30年	779,000円	659,000円	519,000円
	30~35年	979,000円	849,000円	689,000円
35年~	1,079,000円	949,000円	789,000円	

■ 出勤回数と出勤報酬(令和6年度)

《出勤回数》 年間平均	《出勤報酬》 年間平均
約8.4回	約1.9万円

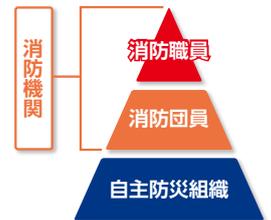
■ その他

公務災害補償や処遇などの支援体制も整っています。



消防団員と
消防職員の違いは？

消防団員は、他に本業を持ちながら、非常勤特別職の地方公務員として、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場に駆け付け、消火活動などを行います。
一方、消防職員は常勤の地方公務員として、消防本部や消防署に勤務しています。



災害時



| 捜索・避難誘導

災害発生時には、地域をよく知る立場から、行方不明者の捜索や避難者の誘導を実施。



| 消火活動

火災発生時には、自宅や職場から現場に駆けつけます。消火活動、後方支援など、その場に応じて活動します。



| 水防活動

台風などの風水害に備え、河川の水位の警戒、土のう作りを実施。水害発生時には、側溝等の排水や積み土のうによる浸水防止など、迅速に対応します。

平常時

| 防火啓発活動

年末には歳末特別警戒として消防車両で町内を巡回します。



| 救命講習会

救急車が到着するまでの応急手当やAEDの使い方を学び、万が一に備えます。



| 消火・防災訓練

火災現場での活動を想定した訓練(放水訓練等)を実施。また各地域の防災訓練等に参加します。



消防団歴
22年目
公務員

消防団歴
10年目
農業者



【吉田分団】
消防団歴
3年目／会社員
今村 匠さん



【宇賀分団】
消防団歴
2年目／団体職員
中野 亜紀さん



【王喜分団】
消防団歴
12年目／自営業
中村 ひとみさん



初対面の消防団員たちが語り合う、消防団のリアル。
飾らない言葉で交わされた、地域への真っすぐな思い。

3 | 宇賀分団



2 | 吉田分団



1 | 消防操法大会



※迅速・確実・安全に行動するために定められた消防用機械器具の取り扱い・操作の基礎について、その技術を競う大会。

THEME 1
なぜ消防団に？
入団のきっかけ

今村 僕は会社近くの居酒屋で盛り上がっていたら、隣の席から女性が来て「その元気を消防団にっ！」と勧誘されました。

中村 すごい勧誘！ スカウトじゃないですか(笑)。

今村 父が消防団員で、消防団が何かは知っていました。でもいざ自分が…。僕の地元は福岡ですが「日ごろお世話になっている地域に何かしたい。この元気を地域に！」と思い入団しました。

中野 完璧な回答ですね。準備してきています？

今村 いやいや本心です！
中野 私は小さい頃、火を消す父の姿を見て育ちました。その姿がとても印象的で…。父の引退を機に、私がおのれを継ぐ形になりました。入団早々、消防操法大会にも出場しましたよ。

【写真1】
中村 私は当時の分団長に「女性団員を募集しちよる」

と言われたのがきっかけです。消防団に抵抗はまったくなかったですが「一人でちよっと…」という気持ちがあったので、知人と一緒に入団しました。

THEME 2
消防団の雰囲気は？

今村 僕にはめちゃくちゃ合っています。もちろん、誰にでも合うとは限らないです。でも年齢関係なく仲良く、雰囲気も最高です。

【写真2】それと、目的が明確な点がいい。例えば、消防操法大会に出るなら優勝しよう、そのために選手ではない人が機材の準備をしてくれたり、選手の代理を引き受けてくれたり；仕事の夜勤とかで参加できないことも当然ありますからね。また訓練ばかりではなくて、花火警戒で夏祭りに参加したときにも、かわいがってもらえます。

中村 王喜分団も仲良いです。息子が就職で下関に帰って来るんですけど「俺も入団しようかな」って言う

くらい。親睦会で一緒だったらどうしようかな(笑)。
中野 分団には、いくつかの部がありますよね。私は消防団歴2年目で、自分の部のことしか分かりませんが、皆さんに負けないくらい、仲が良いです。【写真3】

THEME 3 地域に潜む危険性は？

中野 6月の大雨で国道191号に落石【写真4】があって、全面通行止めでしたよね。私も家に帰れなくて…。仮に大きな災害が発生し、長期化した場合、高齢者が孤立化する可能性が高いなど改めて感じました。

今村 災害になったときの備えなどはあるんですか？

中野 備えではないですが、どこに誰が住み、何人家族かなどは、消防団をはじめ地域のみんなが知っています。それは、早期の安否確認や救助活動につながると思います。

中村 田舎ならではの良さですね。地域性が出ますね。土砂災害や川の氾濫はどこ

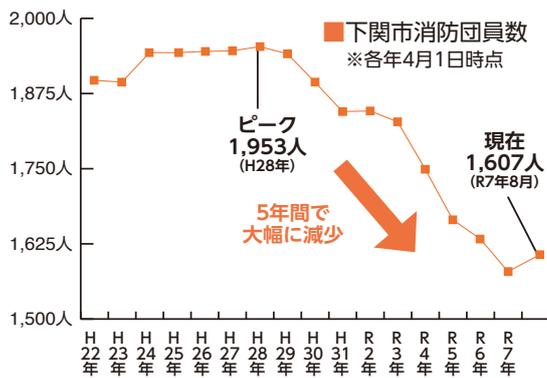
でも起こることですよね。
今村 木屋川は王喜と吉田にも流れている川です。これも吉田地域だけの話ではないですが、古い家や空き家が所狭しと並んで建っている風景を目にします。火災による延焼が怖いです。

THEME 4 消防団と地域防災について考える

中村 この火災写真【写真5】は(令和7年)5月に長崎町で発生したときのものですね。

中野 団員の高齢化についてのは1つありますよね？

今村 入団以上に退団が多いんでしょね。



中村 「入団したけど活動に参加できなくてごめんなさい」という気持ちになって辞められる方もいますね。全部が全部、今月はこれに出て、来月はあれに出て：無理ですよ。

今村 全部は無理です。全部ありきで考えちゃうと入団にためらいが出ますよ。

中村 みんな仕事も家庭もあって忙しい。「スキマ時間でもいいからおいで」とかいいんじゃないかなって私は思います。

中野 消防団の活動が知られていないことも原因かもしれないですね。まず知ってもらうことが大切ではないでしょうか。「若いから、体力があるからできる」という声をよく聞きますが、想像と実際にギャップがあるように感じます。例えば全員が体力があるわけでもなく、消防操法大会に出るわけではないです。

今村 そういえば先日、清末東町で火災【写真6】がありましたよね。多くの消防

団員が駆け付けたとか。
中野 防災メールで確認しました。地域を問わず大丈夫なのか気になっちゃいますね。

中村 私も実際に家の近くで火災がありました。すぐに現場に向かい、消防車の到着時間を短縮するために交通整理をしました。手伝えることがあったら何かしたい。「女性だからいいよ」っていう場面も当然あるかもしれないけど、女性だからできることもあると思っています。

今村 同じ志を持った別の分団の方とお話できて良かったです。刺激になりました。この前の消防操法大会では、皆さんとずっと交流したかったです。

中野 消防団員同士の交流は、地域防災の士気向上にもつながりますね。

中村 皆さんの声を聞いて、下関の未来が少し明るく見えてきました。

全員 本日はありがとうございました。

誰かがやる、
その誰かになる。
地域を
「守る」選択。

【彦島分団】
消防団歴
23年目 / 自営業
富田 真生さん

ON

OFF

OFF

ON

【勝山分団】
消防団歴
15年目 / 団体職員
木原 そよかさん

支える役割で
地域のためになれる

女性消防団の創設当初は広報活動が多く、正直、私は苦手でした。でも今は女性団員が増え、それぞれ得意分野を生かして活躍してくれているおかげで、私は現場で頑張っています。とはいえ、最前線で消火活動等をしているわけではありません。危険な場面があるからこそ、消防職員のフォローに徹します。日ごろのご近所付き合いや土地勘を生かした情報を消防職員に伝えたり、敷地にホースを通すための交渉を手伝ったりと、地域で暮らす強みを生かすのです。消防団は地域の力になれる存在です。入団希望者には、私自身が感じた魅力「地域とのつながりが深まり、出会いに恵まれること」も伝えていきたいです。

私らしく、そして
静かに地域に寄り添う

全国女性消防操法大会で欠員が出た際、急きょ補充要員として、私に声が掛けられました。消防団員の熱意に圧倒されつつも、入団してから見えた景色は、想像以上に広がりがあるものでした。新しいことへの挑戦、地域への愛着、そして病院の外でも医療従事者として役に立てる場との出会い。災害時には、私は病院にいるため、現場に駆け付けることはできません。それでも、消防職員や地域の方々との築いた「顔が見える関係性」が円滑な連携につながると信じています。消防団で背伸びする必要はありません。自分のライフスタイルに合わせて、そっと地域に根差す——それが私の消防団との向き合い方です。



入団方法

《入団条件》
市内在住で18~65歳の健康な方

《申込方法》
◆ 最寄りの消防団へ。
◆ HPからか、電話で消防局警防課へ。

「所属分団のこと」「活動内容」「待遇」など、ご不明な点はお気軽にご相談ください。

岡消防局警防課
(☎233-9112)

HP



地域の未来につなぐ

生まれ育った自然豊かなこの町を、できるだけ良い形で、次の世代に残したい——。その思いが根底にあります。地域に貢献する方法はさまざまですが、私にとって消防団での活動はその大切な一つです。もちろん、無理をして最前線で消火活動するとか、水害時の復旧作業で体がボロボロになるまで土を掘る、というわけではありません。特別な力がなくても、自分ができることをやる。それだけでも、誰かの役に立てると信じています。この活動を続けられているのは、家族や職場の理解と支えがあるからこそです。家族は消防団の行事に参加できるよう配慮してくれ、職場も出勤の際には快く送り出してくれます。その思いやりに感謝しています。今、分団長の立場を担うようになり、これまで以上に「地域の未来」を意識するようになりました。次の世代が安心して暮らせる町であり続けるために、今できることを一つ一つ積み重ねていきたいと思っています。



ON

OFF

【豊東分団】
消防団歴
15年目 / 会社員
山田 祥克さん

私も
誰かの隣人。
もう1つの
「守る」選択。

消防団員の皆さんは、静かに、でも確かに地域を守ってくれています。その姿に、頼もしさを覚えた方も多いのではないのでしょうか。

けれども「消防団員になること」がすべてではありません。災害のとき、誰かが助けに来てくれるとは限らない。まず、自分の命を守る——その準備こそが、地域の防災力を向上させます。日ごろから避難経路を確認しておくこと。家族と「もしものときどうするか」を話し合っておくこと。それら一つ一つの行動が「守る人」としての選択になります。

消防団を選ぶ人、選ばない人。誰かの命を守る人、自分の命は守れる人。

そのすべてが、災害などに備える大切な力です。誰かの選択に背中を押されて、自分の備えを始めてみませんか。

「命を守る選択」、その意識の始まりが、下関の地域防災力を強くしてくれるはずです。



今日から私も防災力アップ

7月26日に開催された「夏休み親子避難所体験」の参加者にインタビューしました。



福田 美穂 さん

避難訓練で、真剣に取り組む娘の姿を見て、もっと楽しく、一緒に学びを深めようと思い、避難所体験に参加しました。

私が住む家は海拔3mで、海と川のそば。少しでも高潮になったらアウトです。ですので、どのような状況で、誰が家の2階に残り、誰が避難所に行くか、ペットはどうするかなど、**常日頃から「命を守る行動」について考えています。**今回、非常用バッグの展示があり、一式4,000円程度で買えることが分かったので、買いそろえたいと思いました。

娘さんと一緒に学ぶ姿勢、素晴らしいですね。海拔が低い地域では早めの避難判断が命を守る鍵です。非常用バッグに入れる物は季節ごとに見直すのが理想です。



防災危機管理課
宮崎 智志



福田 あすか さん

毎年、防災フェアに参加していて、**何度も練習したからAEDを使えます。**将来、救急救命士になります。



AEDの習得、頼もしいです。これから多くの命を救える存在になってくれることを期待しています。



消防局警防課
清水 亮佑



藤本 茜 さん

夏休みの思い出に、友達と参加しました。家の近くには、川があります。台風や豪雨などで増水したときの**災害リスクを改めて考える機会**になりました。



藤本 葵 さん

みんなで段ボールベッドを作りました。それと、VRの映像で**災害の怖さ**を知りました。

段ボールベッド作りを実際に体験することで避難所生活をリアルに感じられましたね。またVRで感じた怖さを「備える力」に変えて、家での安全な空間づくりを進めてみましょう。



防災危機管理課
上部 博範



梅岡 真弓 さん

「下関は災害が少ないまち」だと言われますが、実際いつ起こるか分からない災害に対して、冷静に行動できるよう**常に備えることが大切**だと改めて感じました。



梅岡 希充 さん

今日「うちのケン」を**家族で話し合ってみたく**と思いました。

家族や身近な人と一緒に考えることは大切です。自分や大切な人を守るために、「備える」選択をしましょう。その選択こそが、命を守る行動につながります。



消防局警防課
内田 幾